

新たに入会された皆さん
賛助会員

・子延 優子
・特定行政書士
・田中保子事務所
・藤岡 和枝
・井上 三恵

寄付をいただいた皆さん

・濱本 佳子
・橋田 てつ子
・阪神シニアカレッジ
書道部
・中野 裕行
・井村 文雄
・菅原 美代子
・谷本 啓子
・三戸 俊徳
・石橋 さなえ
・宝塚の芸術倶楽部

(順不同、敬称略 期間:2018年3月21日~2018年5月31日まで)

ご支援ありがとうございました。

(認定)宝塚NPOセンター会員募集・継続のお願い

宝塚NPOセンターは、「市民が市民を支える社会」を作るために、市民活動の支援をしています。人がつながり仲間になる、仲間がつながり地域になる、地域がつながり社会になる、その全ての場面を支えるセンターでありたいと考えています。私たちの活動を、会員として一緒に支えて下さいますようお願いいたします。

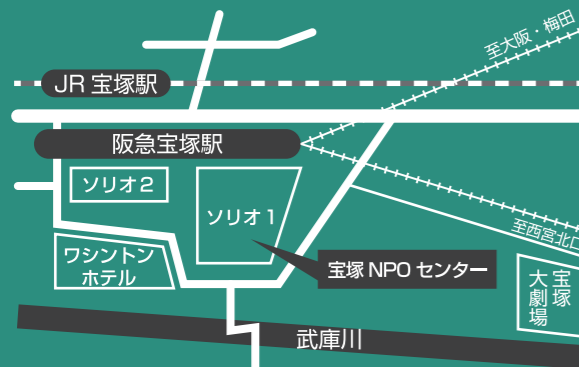
※認定NPO法人への寄付は税制面で優遇されます。

会費

個人正会員	団体正会員 (NPO 法人他)	法人正会員	賛助会員
10,000 円		30,000 円	3,000 円

振込先

	銀行振込	郵便振替
銀行名	三菱UFJ	
支店	宝塚支店	
口座番号	普通預金 3629422	00930-8-77117
カナ	トクテイヒエイリ タカラツカエヌビーオーセンター	タカラツカエヌビーオーセンター
口座名義	(特)宝塚NPOセンター	宝塚NPOセンター



(認定)宝塚NPOセンター

〒665-0845
兵庫県宝塚市栄町2-1-1
ソリオ1-3F
TEL: 0797-85-7766 FAX: 0797-85-7799
E-mail: zukanpo@hnpo.net
URL: http://hnpo.net/

発行人: 牧里 每治 編集人: 中山 光子

宝塚NPOセンターニュース

TAKARAZUKA
NPO CENTER
NEWS

市民の手で市民活動を支える

95 このニュースの編集、発送はボランティア
皆さんにご協力いただいています

2018.6

人や団体をつなぎネットワークをつくり
多様な社会参加ができる地域をつくる

宝塚NPOセンターは
メールマガジンを月1回配信しています

zukanpo@hnpo.net

上記アドレスに「配信希望」とご連絡ください

みなさまの寄付で支えられています

http://hnpo.net/support/

認定NPO法人に寄付をすると税金が戻ってきます

(認定)宝塚NPOセンター 理事長 牧里 每治

平成30年度通常総会報告

日時：平成30年5月27日（日）13:30-15:00
 会場：宝塚市立男女共同参画センター
 参加人数：正会員71名（うち委任状48名）
 提案された議案・報告はすべて承認可決されました。



平成29年度特定非営利活動に係る事業会計
 活動計算書簡易版
 平成29年4月1日～平成30年3月31日まで

科 目	当初予算	決算額
I 経常収益		
1. 受取会費	1,300,000	993,000
2. 受取寄付金	507,500	576,335
3. 受取助成金等	10,700,000	10,697,000
4. 事業収益	7,935,000	11,567,356
5. 受託収益	65,483,016	63,127,585
6. その他収益	52,000	290,832
経常収益計	85,977,516	87,252,108
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	54,901,843	51,133,331
(2) その他経費	22,218,010	24,802,960
事業費計	77,119,853	75,936,291
2 管理費		
(1) 人件費	440,000	151,126
(2) その他経費	6,811,527	6,408,767
管理費計	7,251,527	6,559,893
経常費用計	84,371,380	82,496,184
III 経常外収益		
1 雑収益	0	410,680
経常外収益計	0	410,680
IV 経常外費用		
1 雑損失	0	2,823,787
経常外費用計	0	2,823,787
税引前当期正味財産増減額	1,606,136	2,342,817
法人税等	82,000	326,100
当期正味財産増減額	1,524,136	2,016,717
前期繰越正味財産額	26,518,975	26,518,975
当期正味財産合計	28,043,111	28,535,692

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計
 活動予算書
 平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

科 目	当初予算
I 経常収益	
1. 受取会費	1,300,000
2. 受取寄付金	400,000
3. 受取助成金等	10,675,000
4. 事業収益	1,910,000
5. 受託収益	55,333,896
6. その他収益	52,000
経常収益計	69,670,896
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	44,968,735
その他経費計	20,490,961
事業費計	65,459,696
2 管理費	
(1) 人件費	500,000
(2) その他経費	3,025,000
管理費計	3,525,000
経常費用計	68,984,696
III 経常外費用	
1 雑損失	0
経常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	686,200
法人税等	131,700
当期正味財産増減額	554,500
前期繰越正味財産額	28,535,692
当期正味財産合計	29,090,192

平成30年度通常総会報告

平成29年度は久しぶりに多くの理事に新しく着任していただきました。新しい理事体制になり、当団体も中間支援団体として変化を求められている時期にきているように思います。当団体が設立された20年前はまだ特定非営利活動促進法もなく、NPOという日本社会にとっては馴染みのない市民公益団体をあまねく啓発・促進するにはインターメディアリーという中間支援組織が必要でした。しかしながら、その役割は以前のようなNPOの啓発・促進だけでなく、色々なセクターの協働を支える組織に変化しています。その背景には、NPO法人以外にも社会目的をもって活動する団体のすそ野が広がってきたことがあります。民法改正による一般社団法人、一般財団法人という形態で非営利活動などの事業展開がしやすくなったこと、株式会社、自営業などであってもコミュニティビジネスやソーシャルビジネスに取り組みやすくなったこともあるかもしれません。設立から20年が経ったいま、当初のままの在り方でいいのかと問われるといささか悩むところではあります。ただ、市民セクターとして市民活動のすそ野を広げる団体として『市民活動の交差点』でありたいという願いは変わらず堅持し続けたいと思います。

ここ数年は、地縁組織での自治活動や相互扶助の活動やボランティア活動など伝統的な非営利公益活動以外にも、就労・起業という形での『もうひとつの社会参加』があると信じて事業展開し、非正規雇用の若者や高齢者の就労などを通じた社会参加の課題にも取り組んできました。平成29年度重点的に取り組んできた事業は、特定非営利活動法人制度にいう20の不特定かつ多数のものの利益に寄与する目的のうち、『まちづくりの推進を図る活動』と『職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動』の二つが該当するでしょう。

新規事業は、伊丹市立市民まちづくりプラザ指定管理業務や兵庫ひきこもり相談支援センター阪神ランチです。従来事業の中では、生きがいごとサポートセンター事業で実施した『女性起業セミナー』に定員を上回る申し込みがあるなど、時代のニーズに応じた社会参加プログラムの開発が求められています。

平成30年度は超高齢社会への社会参加を見据えた取り組みとともに、地域(まち)をつくる中間支援団体として、人をつなぎ団体を支援し、多くの方々の社会参加を実現させていきたいと思っています。

理事長 牧里 毎治

平成30年度に取り組む事業

- 協働の場づくり**
 - 宝塚市市民活動促進支援事業
 - ひょうごアドプト推進業務
 - 宝塚市きずなの家事業
- 人と組織づくり**
 - 兵庫県生きがいごとサポートセンター事業
- 地域づくり**
 - 伊丹市立市民まちづくりプラザ指定管理業務
- 仕事を通じた社会参加づくり**
 - 宝塚市職場体験付若者就労支援事業
 - 伊丹市若年者就労サポート事業
 - 地域若者サポートステーション事業
 - 宝塚市就労準備支援事業及び自立相談支援事業
- 参加の場づくり**
 - 100色珈琲事業
- 市民ネットワークづくり**
 - 情報提供、講演
 - 東日本大震災支援
 - ネットワーク事業

平成30年度の理事・監事の体制

役 職	氏 名	現 職
理事長	牧里 毎治	関西学院大学 名誉教授
副理事長	遠座 俊明	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所
副理事長	橘田 てつ子	認定 NPO 法人 経営支援 NPO クラブ
理事	西井 進剛	兵庫県立大学 経営学部 教授
理事	福島 達夫	社会保険労務士
理事	細谷 崇	CoderDojo 西宮・梅田代表
理事	越知 昌賜	兵庫県立大学 経営学部 特任教授
理事	中山 光子	認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター 事務局長
監事	中原 さくら	中原会計事務所
監事	田中 茂	特定非営利活動法人 シミズシズ代表理事



伊丹市立市民まちづくりプラザ、2年目の指定管理を迎えて

宝塚NPOセンターが、伊丹市立市民まちづくりプラザの指定管理者として施設運営を担うことになり、折り返しの2年目に入りました。昨年1年間は、多くの市民の方々に支えられ活動を続けてまいりましたが、2年目の平成30年度は活動の領域をさらに広げ、その内容をより一層深化させていくことができると考えております。ご承知のとおり、「まちづくり」は一人ひとりの市民の方々、さまざまな地域団体、自治体などが「協働」して作り上げていくものです。その受け皿としての市民まちづくりプラザが機能できるよう、職員一同これまで以上に力を尽くしたいと思います。よりよいまちづくりを目指して、多くの方のご参加・ご協力をお待ちしております。



伊丹市立市民まちづくりプラザ

〒664-0015
 兵庫県伊丹市昆陽池2丁目1番 スワンホール2階
 TEL : 072-780-1234 / FAX : 072-785-0234
 E-mail: icm-puraza@hcc6.bai.ne.jp

【利用時間】10:00～20:00
 【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
 年末年始(12月29日～1月3日)